

財団法人 日本サッカー協会

平成 22 年度 第 5 回理事会

協議事項

1. 2010 ビーチサッカー日本代表コーチングスタッフの件
<p>ビーチサッカー日本代表のコーチングスタッフについて以下の通りとしたい。</p> <p>監督：ラモス 瑠偉（2005、2009 ビーチサッカー日本代表監督）</p> <p>コーチ：吉井 勝宏（湘南ベルマーレ S C / 2009 ビーチサッカー日本代表コーチ）</p> <p>（今後の予定）</p> <p>2010 年 9 月、11 月 トレーニングキャンプ</p> <p>11 月 強化試合（調整中）</p> <p>2010 年 12 月 8 日（水）～16 日（木） 第 2 回アジアビーチゲームス（2010/マスカット）</p>
2. 2009 年度公認 S 級コーチ養成講習会判定結果の件
<p>全てのコースを修了し、筆記試験・口頭試験・指導実践・レポート全てにおいて合格したため下記 4 名を公認 S 級コーチと認定したい。</p> <p>氏 名：秋葉 忠宏（あきば ただひろ）</p> <p>指導チーム：S. C. 相模原</p> <p>生年月日：1975 年 10 月 13 日</p> <p>資格：2010 年 公認 A 級コーチ</p> <p>指導歴：2009 年～ S. C. 相模原 監督</p> <p>氏 名：下平 隆宏（しもたいら たかひろ）</p> <p>指導チーム：柏レイソル</p> <p>生年月日：1971 年 12 月 18 日</p> <p>資格：2010 年 公認 A 級コーチ</p> <p>指導歴：2005 年～ 柏レイソル普及コーチ、流通経済大学付属柏高校臨時コーチ</p> <p>2006 年～2008 年 柏レイソル普及臨時コーチ</p> <p>2009 年 柏レイソル U-18 コーチ</p> <p>2010 年～ 柏レイソル U-18 監督</p> <p>氏 名：布部 陽功（ぬのべ たかのり）</p> <p>指導チーム：柏レイソル</p> <p>生年月日：1973 年 9 月 23 日</p> <p>資格：2010 年 公認 A 級コーチ</p> <p>指導歴：2009 年 アビスパ福岡サポートコーチ</p> <p>2010 年～ 柏レイソル トップチームコーチ</p> <p>氏 名：吉田 謙（よしだ けん）</p>

<p>指導チーム：ACN ジュビロ沼津</p> <p>生年月日：1970年3月1日</p> <p>資格：2006年 公認A級コーチ</p> <p>指導歴：1999年～2007年 ACN ジュビロ沼津 U-15 監督</p> <p>2008年～2009年 アスルクラロ沼津 U-13 監督</p> <p>2009年～ ACN ジュビロ沼津 U-15 監督</p> <p>※参考：現S級コーチライセンス保持者数：325名（上記4名含む）</p>
<p>3. 特任理事 選任の件</p> <p>（協議）資料No. 1 ①②</p> <p>西村昭宏氏を、特任理事に選任したい。</p> <p>氏名：西村 昭宏（にしむら あきひろ）</p> <p>生年月日：1958年8月8日（52歳）</p>
<p>4. 全国高等学校サッカー選手権大会におけるメディカルチェック・メディカルサポート実施の件</p> <p>（協議）資料No. 2 ①②</p> <p>全国高等学校サッカー選手権大会出場選手に対して、メディカルチェックを行いたい。</p> <p>また、同大会の地区予選（準決勝・決勝）でメディカルサポートを実施したい。</p> <p>目的：育年代選手のスポーツ外傷・障害の早期発見と予防に寄与するため。</p> <p>実施内容：出場選手に健康調査用紙を配布し、用紙の記入とドクターによる問診にてメディカルチェックを行い、結果に応じてフィードバックを行う。</p>
<p>5. 各種委員会委員、部会員、プロジェクトメンバー選任の件</p> <p>（協議）資料No. 3</p>
<p>6. Jリーグ加盟を標榜するクラブに対する優遇措置の件</p> <p>（協議）資料No. 4 ①②③</p> <p>申請クラブ：S.C.相模原（神奈川県社会人1部リーグ）</p>
<p>7. 日本サッカーミュージアム 館長委嘱の件</p> <p>2002FIFA ワールドカップ記念 日本サッカーミュージアム 規定</p> <p>「第6条（館長の選任） 館長は理事会の承認を経て、会長が委嘱する」</p> <p>2002FIFA ワールドカップ記念 日本サッカーミュージアム</p> <p>館長 川淵 三郎（名誉会長）</p> <p>任期 2010年9月10日から2年</p>
<p>8. 新公益法人制度への対応の件</p> <p>新公益法人制度への対応について、本協会は、2012年4月1日付での公益財団法人への移行登記完了に向けて、現在検討中である。</p> <p>本件、「公益財団法人への移行方針」につき、寄附行為第28条第1項第6号の規定に基づき、7月25日開催の評議員会において意見を聞き、ご承認を得たため、本理事会において「公益財団法人への移行方針」について、正式に決定することとしたい。</p>

9. 退任された参与の方へ 感謝状贈呈の件
2010年7月25日をもって退任された参与62名の方に、永年に亘る労をねぎらい感謝状を贈呈したい。
10. JFAロングパイル人工芝ピッチ公認(新規)の件
<p>1. 公認申請者：今治市</p> <p>施設名：桜井海浜ふれあい広場サッカー場（愛媛県/今治市）</p> <p>施設所有者：今治市長 菅 良二</p> <p>公認期間：2010年9月9日～2013年9月8日</p> <p>公認番号：第105号</p> <p><特記事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ハイブリッドターフ(XP-62) /住友ゴム工業(株)は製品検査(ラボテスト)を完了し、JFAロングパイル人工芝基準を満たしている。 ◆公認規程に基づき2回の検査(フィールドテスト)を実施し、JFAロングパイル人工芝基準を満たしている。
11. 2011年国際審判員候補者の申請の件
<p>以下の審判員を2011年国際審判員候補者(年齢順)として、国際サッカー連盟に申請したい。</p> <p><国際主審> 7名</p> <p>・西村 雄一(38)* ・家本 政明(37)* ・高山 啓義(36) ・東城 穰(34)*</p> <p>・佐藤 隆治(33)* ・<u>飯田 淳平(29)</u> ・<u>山本 雄大(27)</u></p> <p><国際副審> 9名</p> <p>・宮島 一代(43) ・岡野 宇広(40) ・名木 利幸(39)* ・八木あかね(36)</p> <p>・大塚 晴弘(35) ・相楽 亨(34)* ・西尾 英朗(34) ・<u>入部 進也(34)</u></p> <p>・<u>田尻 智計(33)</u></p> <p><女子国際主審> 4名</p> <p>・深野 悦子(38) ・山岸佐知子(37) ・<u>梶山 芙紗子(33)</u> ・佐藤 奈美(32)</p> <p><女子国際副審> 4名</p> <p>・鮎貝 志保(38) ・高橋 早織(37) ・千葉 恵美(35) ・<u>大畠 千枝(33)</u></p> <p><フットサル国際審判員> 4名</p> <p>・延本 泰一(40) ・芝村 洋一(36) ・宮谷 直樹(31) ・<u>小崎 知広(32)</u></p> <p><ビーチサッカー国際審判員> 2名</p> <p>・櫻田 雅裕(40) ・小野寺 祐(38)</p> <p>注：() = 2011年1月1日現在の年齢</p> <p>下線 = 新規登録者。</p> <p>* = プロ契約審判員</p>
12. 第35回全日本少年サッカー大会 大会実施要項改定の件
2010年度4月の理事会にて承認された、JFAが主催するU-12年代競技会の8人制サッカーへの移行に伴い、第35回全日本少年サッカー大会実施要項について、U-12年代の研修大会という意義を再確認し、第4種大会部会にて検討を行い、以下の通り、改定したい。

- ① 同一加盟チームからの複数チームエントリーを都道府県大会において可とする。
- ② 一人審判制を全国大会では採用し、都道府県大会では推奨していく。
- ③ 競技時間は前後半とも 20 分間とし、ハーフタイムのインターバルは 10 分とする。
- ④ 競技者が退場を命じられた場合は、交代要員から補充可とする。(個人への罰は与えるがチームへの罰は与えない)
- ⑤ フィールドプレーヤー (F P) とゴールキーパー (G K) の両方を経験する重要性を鑑み、G KはF Pユニフォームのまま、他の競技者と識別できる色のシャツ等の着用を可とする。
- ⑥ 研修大会の意義に則り、全 48 チームが最終日まで福島県 J ヴィレッジで大会を行い、全員出席のもとで閉会式を開催する。

なお、大会実施要項については、上記ポイントを含め、詳細を整えて再度提出する。

13. J F A ころのプロジェクト海外展開の件

J F A ころのプロジェクト「夢の教室」は国内を中心に進めてきた。特別企画として、海外では日本人学校を中心に 7 カ国で実施してきた。

2022 年 F I F A ワールドカップ招致インスペクションで来日したチリサッカー連盟のハロルド会長が J F A ころのプロジェクトを「THIS IS REAL FOOTBALL」と評したのを受け、より広く海外にも発信・展開していきたい。

(1) 海外での実績 (注なしは日本人学校)

2008 年度	マーシャル諸島	木村哲昌 (現地児童)
	香港	東明有美
	インドネシア	宮澤ミシェル
		川上直子
		安永聡太郎
2009 年度	キルギス	木村哲昌 (現地児童)
	スペイン	白石尚久 (F C バルセロナ所属下部組織コーチ)
	シンガポール	鳴尾直軌 (アルビレックス新潟シンガポール所属)
		式田高義
2010 年度	ドイツ	永里優季 (1 F F C ポツダム所属)
	タイ (予定)	タイ在住の元 J リーガーを中心に実施予定

(2) 今後の海外展開施策

- ① 海外向け「J F A ころのプロジェクト」紹介 DVD (F I F A 4 公用語) 作成
 - ・ 208 F I F A 加盟の国と地域に DVD を郵送し周知を図る。
 - ・ 開催を希望する F A あれば情報、ノウハウを提供。状況によってはモデル授業を実施。
- ② A F C、F I F A、東アジア連盟等でのプレゼンテーションを実施
- ③ 海外での現地ユメセンによる現地での実施。
- ④ 現地日本人学校での活動を現地 F A と協力体制を築き、より広く展開する。

上記活動は、W 杯招致委員会・国際部・東アジア連盟と協働して実施する。

14. プレジデント・ミッション(PHQ) 関連事項

I. 「47F A 公益目的事業等活動支援金」の交付について

1) 「47F A 公益目的事業等活動支援金」交付要項について

2009 年度第 11 回の理事会においてご承認いただいた、2011 年度以降の支援金に関する交付要項を別紙の内容にて確定したい。

名 称：47F A 公益目的事業等活動支援金

期 間：2011 年度から 2013 年度まで

財 源：J F A 登録収入の 45%を目安とする

使 途：原則として、支給額の 70%以上を公益目的事業に使用するものとし、支給額の 30%以下であれば公益目的以外の事業に使用することも可能とする

(協議) 資料No.5

2) 2011 年度「47F A 支援金限度総額」について (内定額)

上記要項に基づき、2011 年度の「47F A 支援金限度総額」を別紙のとおり内定する。

(協議) 資料No.6①②